

# ガンマッシュ

84号  
2020・9月  
菌輪



《特集》 新型コロナウイルス  
感染症対策に関する情報



# 全国サンマッシュ生産協議会スローガン

消費者ニーズに合った、市場性の高い生しいたけを生産しよう！  
 需要と供給のバランスがとれた秩序ある生産体制を維持しよう！  
 生産性の高い栽培技術に取り組もう！

## 全国サンマッシュ生産協議会会報

サンマッシュ 菌輪 第84号目次

全国サンマッシュ生産協議会役員会報告 事務局	1
《特集》新型コロナウイルス感染症対策に関する情報	
感染者が発生した時の対応及び事業継続に関する基本的なガイドライン	2
影響を受ける農林業者への支援策まとめ	2
農業関係者向けのガイドラインまとめ	3
新型コロナウイルス感染症対策商品のご紹介 営業本部	5
夏期セミナー研修会総括 食用菌類研究所	6
営業所日より 東北営業所 細川 和也	10
第33回特用林産功労者表彰のお知らせ 編集部	12
部門日より サンマッシュ田野畑(第4回) 青木 貴行	14
(株)北研 人事のお知らせ	
執行役員東日本営業統括部長兼東北営業所長 岩崎 拓也	16
執行役員研究所長兼製造部長 山内 隆弘	16
外部執行役員業務部長 皆黒 友彌	17
営業部新規開拓・海外事業課課長 石塚 誠	17
総務部課長 廣江 則之	18
製造部種菌品質管理係主任 沼田 多佳子	19
(株)北研 新入社員紹介	
製造部種菌品質管理係 遠藤 章成	19
賛助会員紹介 東亜技研工業株式会社	20
生しいたけの原産地表示に関して 編集部	21

### 令和2年7月

#### 集中豪雨のお見舞い

この度の令和2年7月豪雨により、全国各地で甚大な被害が発生いたしました。犠牲になられた方々とご遺族の皆さまに、謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された地域の皆さま、そのご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

また、被害に遭われましたサンマッシュ会員の方々にお見舞いを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

全国サンマッシュ生産協議会 会長 森坪清則  
 (株)北研 代表取締役社長 白田卓一

### 全国サンマッシュ

#### 生産協議会役員会報告

全国サンマッシュ生産協議会事務局

全国サンマッシュ生産協議会では例年、4月には三役会を5月には役員会を開催しております。三役会では、会長、副会長、

会計にお集まりいただき、先に開催された全国大会の収支報告や次月の役員会議題の内容検討がなされます。また5月の役員会では、会長、副会長をはじめ各支部長を含む全国理事24名と全国青年部長、(株)北研役員にご参集いただき、事務局報告(全国大会収支、4月までの事業実績と会計実績)と、支部活動の報告、青年部活動の報告を受け承認していただきます。また今後の事業として、7月夏期セミナー、翌年度の全国大会、翌々年度の大い会候補地、等を協議し決定していただきます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、全国大会こそ辛うじて開催できましたものの、それ以降の活動を自粛せざる得ない状況でした。国内動向を振り返りますと、2月27日には全国の小中高校に休校要請が出され、プロ野球開幕延期や春の選抜高校野球の中止、東京五輪・パラリンピックの1年延期が決まりました。全国各地でクラスター発生件数が急増、東京都内の新規感染者数も増え続け、3月29日にはタレントの志村けんさんが死去されるなど、新型コロナウイルス感染の脅威を身近なものとして感じるようになりました。そ

して、政府行政機関からも不要不急の外におよびイベントの自粛要請が出ましたことから、4月7日に予定しておりました三役会は、書面会議での開催に変更となりました。

また、5月開催の役員会についても、集合開催は自粛して書面会議となりました。4月23日には、森坪会長名で書面議案書を役員各位に郵送し、主に以下の2点についてご審議いただきました。

(1) 今年の夏期セミナーの開催の可否  
 (2) 来年の全国大会開催の可否

その結果、夏期セミナーの集合開催は否とすること。栽培技術研修会資料は、作成し会員へ郵送すること。研修会内容は動画にして配信すること。全国大会については、ワクチンおよび治療薬が開発されて流通し、感染予防や感染後の治療が可能となることを条件とすること。以上の案が全会一致でした。その他、「現時点では開催できない」「安心して参加できる状況が整わない限り難しい」というご意見も頂戴いたしました。以上の内容を踏まえて役員各位に5月15日付で議案決定書を郵送いたしましたことを、会員の皆さまにご報告申し上げます。

「表紙絵」

植物細密画家 野村陽子

### 栗(クリ)

クリは、早生、中生、晩生とあり、品種によって料理も違います。渋皮煮には銀寄や筑波、大峰がよく、焼き栗やマロングラッセには渋皮ごとむけるポロタンがいいと聞きました。クリの雌花は最初小さいコンペイ糖のような形です。イガは、1本の針が成長するにつれて手のひら状に枝分かれして四方へ広がり、触るとチクチク刺さるあの形になります。日本では栗は自然に落ちたものを拾い収穫しますが、韓国ではドロボーが多いので、収穫は棒でたたいて落とすとか。国によって違うものです。



農業関係者のみなさまへ

新型コロナウイルス対策に関する農林水産省対策本部

水田・畑作・施設園芸等の農業者や集出荷施設等の従業員のみなさまは、国民への食料の安定供給等に重要な役割を担っています。

みなさまの中で新型コロナウイルス感染症の患者が発生した時に、業務継続を図る際の基本的なポイントをまとめました。

(令和2年5月8日までの知見に基づき作成)

※「農業における新型コロナウイルス感染者が発生した時の対応及び事業継続に関する基本的なガイドライン」<[https://www.maff.go.jp/j/saigai/n\\_coronavirus/pdf/gl\\_nou.pdf](https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/pdf/gl_nou.pdf)>

1 予防対策の徹底

厚生労働省等の情報に基づいて、徹底した対策をお願いします。

○農業者・従業員等に感染予防策を要請します。

- ①体温の測定と記録
- ②発熱などの症状がある場合、陽性とされた者との濃厚接触がある場合等は、関係者への連絡と自宅待機
- ③息苦しさ、強いだるさ、高熱等の症状や比較的軽い風邪症状が続く場合（4日以上）には、すぐに関係者に連絡の上、保健所に問い合わせ
- ④屋内で作業をする場合はマスクを着用し、人との間隔はできるだけ2mを目安に（最低1m）適切な距離を確保  
多人数で行う場合等は、状況に応じて換気を行う
- ⑤集出荷施設等への入退場時には手洗い、手指の消毒
- ⑥ドアノブ、手すり等人がよく触れるところは、拭き取り清掃

○会議・行事等の開催の必要性を検討し、開催する場合には、換気、人と人との間隔をとるなど、「三つの密」※を避けてください。

※①密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、②密集場所（多くの人が密集している）、③密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）



2 患者発生時の患者、濃厚接触者への対応

患者が発生した場合は、保健所の指示に従い対応してください。

- 患者が確認された場合には、関係者に周知するとともに、保健所に報告し、対応について指導を受けてください。
- 保健所の調査に協力し、濃厚接触者の確定を受けます。
- 濃厚接触者と確定された農業関係者には、14日間の自宅待機及び健康観察を実施してください。
- 濃厚接触者と確定された農業関係者は、発熱又は呼吸器症状を呈した場合は、保健所に連絡し、行政検査を受検します。

《新型コロナウイルス感染症対策に関する情報》

●農業における新型コロナウイルス感染者が発生した時の対応及び事業継続に関する基本的なガイドライン

- ・本ガイドラインは、農業者や雇用従業員、集出荷施設等で作業に従事している者（以下「農業関係者」という。）に新型コロナウイルス感染症の患者が発生した時に、保健所（感染症担当。以下同じ。）と連携して、感染拡大防止を前提として、農業関係者の業務継続を図る際の基本的なポイントをまとめたものです。なお、このガイドラインは令和2年5月8日までの知見に基づいて作成されたもので、新たな知見により更新されます。
- ・新型コロナウイルス感染症の主要な感染経路は、飛沫感染と接触感染であると考えられています。2020年4月1日現在、食品（生で喫食する野菜・果実や鮮魚介類を含む。）を介して新型コロナウイルス感染症に感染したとされる事例は報告されていません。製造、流通、調理、販売等の各段階で、食品取扱者の体調管理やこまめな手洗い、アルコール等による手指の消毒、咳エチケットなど、通常の食中毒予防のために行っている一般的な衛生管理が実施されていれば心配する必要はありません<sup>1</sup>。
- ・感染拡大の予防と社会経済活動の両立を持続的に可能とするためには、事業者において自主的な感染防止のための取組を進める必要があります。農業関係者においては、事業の特性を踏まえ、後述の「三つの密」を避けるための必要な対策を含め、十分な感染拡大防止対策を講じるようお願いいたします。
- ・また、畜産事業者向けとして、別途「畜産事業者に新型コロナウイルス感染者が発生した時の対応及び事業継続に関する基本的なガイドライン」（令和2年5月22日付け2生畜第330号生産局長通知）が発出されていますので、御参照ください。

●影響を受ける農林業者への支援策まとめ

経営継続補助金 地域を支える農林漁業者の経営の継続を図ります！

- 感染拡大防止対策を行いつつ、販路回復・開拓や事業継続・転換のための機械・設備の導入や人手不足解消の取組を総合的に支援することによって、地域を支える農林漁業者の経営の継続を図ります。



農林漁業者等の資金繰り対策の強化 経営維持・再建のための資金繰り対策を強化します！

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた農林漁業者等の資金繰りに支障が生じないよう、農林漁業セーフティネット資金等の実質無利子・無担保化での融資枠を拡大します。



高収益作物次期作支援交付金 次期作に前向きに取り組む生産者を支援します！

- 新型コロナウイルスの影響による需要減少により市場価格が低落するなどの影響を受けた野菜・花き・果樹・茶等の高収益作物について、次期作に前向きに取り組む生産者を支援し、国内外の新たな需要促進につなげます。



フードバンクへの未利用食品の提供 売り先がなくなった食品等の有効活用を支援します！

- 新型コロナウイルス感染症対策に伴う休業等により発生する未利用食品の有効活用を図るため、フードバンクに寄附する際の輸配送やフードバンクの受入能力向上に必要な経費、再生利用（飼料化・肥料化等）する際の輸配送費や処理費を支援します。



林業の雇用維持のための保育間伐 原木生産を伴わない森林施策等を支援します！

- 林業の雇用を維持し、防災の観点からも森林を適切に管理するため、植林、地拵え、下刈り、保育間伐等の定額支援を追加します。



※詳しくは、下記の農林水産省ホームページをご覧ください。他省庁による支援策もございます。<https://www.maff.go.jp/>



# 新型コロナウイルス感染症 対策商品のご紹介

(株)北研 営業本部

2ページでご紹介した新型コロナウイルス感染症対策の支援策『経営継続補助金』の補助要件である、「接触機会を減らす生産・販売への転換に要する経費」（補助率3/4、上限額100万円）に該当する対象商品として、「きのこファーム」をご紹介します。

今年は新型コロナウイルスの影響により3月から5月25日までの間、緊急事態宣言が発出されておりました。本来であればこの時期は栽培者様宅へ赴き、夏季前の菌床状態や環境管理の確認等を行っていたところですが、緊急性が低い業務については県外移動を自粛してまいりました。8月現在、第2波、第3波も心配されており、今後数年間はこのような状況が続くのではないかとこの可能性も報道されているところです。

このような状況下では、栽培のアドバイススタイルも現況に合わせて変えていく必要があると感じており、その一翼を担うツールとして「きのこファーム」を強くお勧めいたします。

営業員はハウス内に入った瞬間の環境を体感できるものの過去の環境は直接的には認識できず、現場で聞き取りを行った内容を元に管理のアドバイスをさせていただいております。しかしこの「きのこファーム」を活用することで、実際のデータを基にグラフ化されたハウス環境の推移を正確に認識することが可能になります。また、データの保存もできますので、過去のデータを参照し現在発生している菌床がどのような培養環境で育ってきたのか、1年前のハウス環境とはどう異なっているのか等を振り返ることができます。さらには、ハウス別に複数台設置することで、各ハウス環境の違いを明らかにすることもできます。

デモ機も揃えてございますので、詳しくは担当営業員にお問い合わせください。

この商品は、皆様の栽培技術の向上とそれぞれ異なる各施設環境に合わせた環境管理に有効な手段としてお使いいただけると考えております。



「きのこファーム」の姉妹品として「トマトファーム」「いちごファーム」「水田ファーム」などもあり、たとえば「水田ファーム」では遠方にある水田の水位を確認できるだけでなく、自宅に居ながらスマートフォンで遠隔操作して給水ゲートを開閉、水田水位を調整すること等ができる優れたものです。本体センサー自体はそれぞれの栽培作物用に特化していますが、通信機はどの本体センサーにも使えますので、通信機が1台あれば他作物との共用管理も可能です。

『経営継続補助金』の2次受付開始は、令和2年9月中旬、締切は10月中旬の予定です。

(申請の際は、事前に地域のJAや森林組合、その他の支援機関の確認・了解が必要です)

弊社営業員にご相談いただければ、申請書類作成のお手伝いをいたしますので、これを機にスマート農業を始めてみてはいかがでしょうか。

## 3 生産施設等の消毒の実施

○**保健所の指示に従って**、感染者が作業に従事した区域<sup>※1</sup>の消毒を実施します。緊急を要し、自ら行う場合には、感染者が作業に従事した区域のうち、頻繁に手指が触れる箇所<sup>※2</sup>を中心に、アルコール<sup>※3</sup>で拭き取り等を実施してください。

- ※1 生産施設、集出荷施設、事務室等
- ※2 机、ドアノブ、スイッチ類、手すり等
- ※3 アルコール（エタノール又はイソプロパノール）(70%)、又は次亜塩素酸ナトリウム(0.05%以上)  
※アルコールが入手できない場合はエタノール（60%台）でも可

○**一般的な衛生管理が実施**されていれば、感染者が発生した施設等は**出荷停止や農産物廃棄などの対応をとる必要はありません**。

## 4 業務の継続

あらかじめ**地域の関係者が連携する体制の検討**をお願いします。

<想定される連携体制>

- ・JA等の生産部会
- ・農業法人のグループ
- ・集出荷事業者等を共有する集団
- ・集落



<検討事項（イメージ）>

- ・連絡窓口、連絡網の作成
- ・消毒資材、消毒要員の確保
- ・農作業代替要員のリスト作成
- ・代行する作業の明確化、優先順位付け、作業方法
- ・代替要員が確保できない場合の最低限の維持管理方法など

例えば

支援内容

**耕起作業や播種・移植作業、水やり作業**など当面の営農活動継続のために**支援を必要とする作業**を検討し、**作業の優先順位付け**を行います。

支援要員

**周辺農業者や受託組織**の活用など、あらかじめ  
① **誰(どの機関)**が  
② **どの作業**を  
支援するか役割を明確化します。



※ 労働力の確保状況を踏まえながら、優先順位に基づき、作業を実施しましょう。

※ 必要に応じて市町村等の関係機関に相談しましょう。

農林水産省は、みなさまの業務が継続できるように全面的に協力いたしますので、ガイドラインを参考に対応していただきますようよろしくお願いいたします。

農林水産省



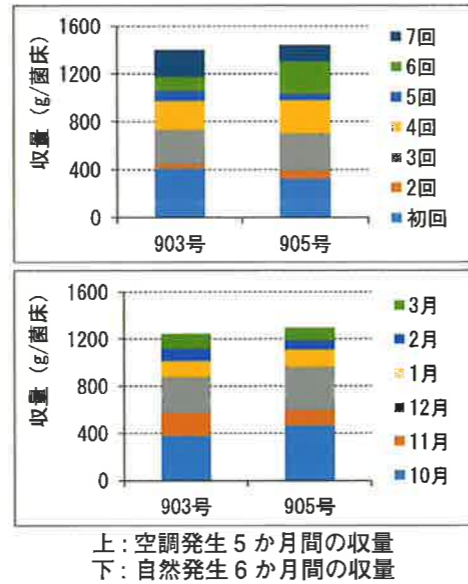
今年の夏期セミナーは、新型コロナウイルスへの感染防止のため、皆様のお手元への研修会資料の送付と、弊社ホームページからの解説動画の配信という形で行なわせていただきました。皆様のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今回は【品種編】、【技術編】、【情報編】の三部構成でお届けしました。

【品種編】では、好評販売中の北研901号・902号の使い方と、今春より限定試験販売中の新品種903号・905号の開発状況について紹介しました。【技術編】では、菌床の培養時の失敗事例と、高温時期の培養管理法について解説しました。

【情報編】では、栽培原料産地商標（通称・どんぐりマーク）の導入事例および食品表示ラベルの表示内容の改正について解説しました。以下、それぞれの内容について報告します。

【品種編】では、今春から限定試験販売を



903号は、芽数をやや抑えて大型のきのこを収穫する場合に適し、905号は芽数を多めで発生させる場合に適す。

現時点での推奨条件は両品種とも共通で、自然栽培・空調栽培ともに705号の栽培法に準じて管理する。培養では、菌糸塊の肥大化を防ぐため菌糸塊形成期は18℃以下の低温を避け、酸欠による白色被膜の発生を防ぐため換気・通気を確保し培養温度を上げすぎないこと（推奨は20℃）、空調栽培では予備カットにより適正培養日数を把握すること、発生では初期から打床や反転など強めの刺激を与えることがポイントとなるので、試験導入した方はご留意いただきたい。

開始した上面栽培用新品種を有利にお使いいただけるよう、また好評販売中の全面栽培用品種の導入のご検討や栽培成績の向上に繋げていただけるよう、これらの品種の特徴と使い方について解説します。

1. 上面栽培用新品種「北研903号」「北研905号」の開発状況

2020年全国大会において発表し限定試験販売を開始した「品種A」「品種B」の正式名称が、それぞれ「北研903号」「北研905号」に決定した。どちらの品種も、きのこは大型・肉厚でポリウム感があり、膜切れは705号と同程度に遅いため、パック向きである。

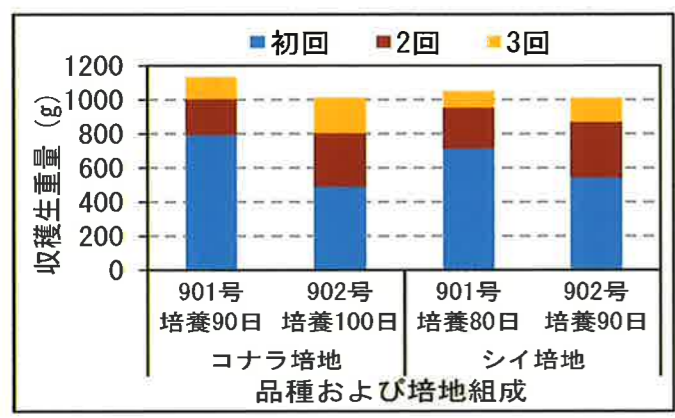


上: 903号、下: 905号

菌床は、上面栽培で管理する上で十分な耐久性があり、積極的な発芽刺激を活用しやすい。栽培では、705号と比べ

2. 空調全面栽培用品種「北研901号」の栽培特性と有利な使い方

「北研901号」「北研902号」は、短期培養と豊産型発生という特長を活かし、空調全面栽培で高回転・安定生産を実現できる。901号は培養がより短期間で完了し、初回発生で全収量の7割程度が得られるため、施設の回転をより重視する栽培に適する。902号は培養が901号よりやや長くなるが、きのこが一回り大型で、初回に続き2〜3回発生もコンスタントに収量が得られるため、きのこの品質をより重視する栽培に向く。全国各地の栽培事例は、栽培方針によって下表に示



下表に示

て培養期間・発生期間ともに短縮できる。このため自然栽培では十分な収量を確保した上で春先に菌床を入れ替えることができ、空調栽培では705号と同様の使い方でも収量を維持しつつ施設の回転効率を高めることができる。



自然栽培 10月発生例  
上: 903号、下: 905号



空調栽培 3〜4回発生例  
上: 903号、下: 905号

した3つのタイプに分類できた。これらタイプ別の管理の要点は共通しており、①初回発生の芽数を各出荷規格に適した数に調整すること、②2回目発生以降も適数の芽数を確保すること、の2点が必要であった。これらを達成するため具体的な管理方法を左表に示すので、ご活用いただきたい。

栽培方針	主な出荷商品	生産体制
1	一般消費者向けの普及価格商品	通年で定量生産
2	付加価値のある高価格帯商品	需要量のみ生産
3	一般消費者向けの普及価格商品	特需期のみ生産

①初回発生芽数の調整		
項目	芽数が増える	芽数が減る
培地圧縮	あり	なし
培養温度	室温20℃	室温23℃
培養日数	★予備カット結果に基づき調整	
	延長する	短縮する
芽出し条件	低温(13~17℃) 連続散水あり	高温(20~23℃) 連続散水なし
②2回目発生以降の芽数確保		
項目	芽数が増える	芽数が減る
休養温度	室温20℃	室温23℃
休養湿度	高湿度(90%以上)	湿度を抑える(70~80%程度)
休養日数	延長する	短縮する
発芽刺激	低温(13~17℃) 連続散水あり	高温(20~23℃) 連続散水なし



技術編では、2020年全国大会で紹介した培養工程に原因のある不良症状の続報と、近年の地球温暖化に対応するためのより強力な高温障害対策について紹介します。

### 3. 失敗事例から学ぶシイタケ菌床栽培の基本 ～菌床培養編 続報～

今回は培養工程に起因する失敗事例の続報として、発生管理において見られた不良事例として酸欠障害、高温障害、乾燥障害を受けた菌床がどのような発生を



酸欠障害の例



高温障害の例

したかを紹介する。

重度の酸欠条件で培養した菌床では、菌糸塊の肥大化が見られ、初回発生時には発生量の減少・菌床間バラツキ、きのこの品質低下、以降の管理では菌床耐久性の著しい低下が確認された。軽度の酸欠条件で培養した菌床では、異常な菌糸塊の形成や菌糸塊が形成されない症状が見られ、初回発生の芽数不足や集中発生など発生の不安定化、菌床耐久性の低下、きのこの小型化、奇形きのこの増加が確認された。

一次蔓延中に高温に曝した菌床では、菌糸伸長の遅延、菌糸のクリーム色への変色、菌床の軟化、褐変不良が確認された。初回発生時には収量の低下、奇形きのこの増加、以降の管理では菌床耐久性の低下が確認された。菌糸塊形成時期に高温に曝した菌床では、褐変不良、菌糸塊の形成不良、菌床の軟化が確認され、発生時には芽数の減少、きのこの品質の低下、株状の発生、空芽やボウズ芽の発生、菌床耐久性の低下が確認された。

一次蔓延以降を乾燥条件下で培養した菌床では、上面からの発生の減少、肩口からの発生の増加が確認された。ここまで紹介した障害の多くは回復が困難であるため、実際の栽培では予防を念頭に置いた対策を講じる必要がある。適正な環境条件の目安を下表に示すので、ご自身の栽培環境の再確認や、必要に応じて環境の改善にお役立ていただきたい。

因子	管理目安
酸素	換気量：炭酸ガス濃度3,000ppm以下 通気量：目安0.3～0.6m/秒
温度	菌床内温度：26℃以下
湿度	湿度目安：60～80%

### 4. 高温時期の菌床管理方法

近年、地球温暖化の影響により、外気温が高い期間が長くなり、かつ最高気温も上昇している。この気温変動はシイタケ菌床栽培にも大きな影響を与えており、特に自然栽培において従来の対策では対応しきれない事態が生じている。基本的な対策を左表にまとめたので参考にして管理いただきたい。

培養ステージ	ポイント	実施項目
仕込み	仕込みを早期に完了させる	3月初旬頃にまでに仕込む(地域変動有)
発菌・活着	種菌の発菌・活着を早期に完了させる	最低温度の確保、保湿
一次蔓延中	気温上昇への対応 菌床の発熱や呼吸量の増加を意識した管理	通気、換気を積極的に行う ハウス仕様変更時期の前倒しによる春の高温障害対策
菌糸塊形成 褐変		横置き、袋剥がしによる通気の向上 散水による菌床の冷却
夏期カット	夏期カット管理中の高温障害対策	温度が上昇する場所は使用しない 夜はハウスを開放して菌床の熱を逃がす 散水による菌床の冷却
発生前管理	高温障害対策を継続する 原基形成を意識した温度管理	暖房抑制 芽作り温度帯の確保

より強力な高温障害対策として、屋根散水の発展形や細霧と送風の組み合わせなどの気化熱による冷却、冷たい地下水や農業用水の活用など水温による冷却といった積極的にハウスや菌床を冷やす方法が挙げられる。屋根散水の発展形は、ハウスサイドの開口部までを遮光材で覆い、濡れた遮光材を通して外気を取り込むことで、側面から冷えた空気を導入しハウス内温度をより一層下げる手法である。また、近年は高い断熱性と遮熱性を併せ持つ被覆資材も開発されており、これらを併用することでより冷却効果を保つことができるので、ぜひご活用いただきたい。

### 【情報編】

昨年の外国産菌床の輸入量は28,617トンであり、その菌床から収穫されたシイタケは推算9,539tとなる。これは国産生シイタケとして流通しているシイタケの約13%に相当する。しかし、ほとんどの消費者はこの事実を知らないため、外国産菌床から発生したきのこのこと国内産菌床から発生したきのこの違いを分かりやすく示す必要がある。

### 5. 外国産菌床への対応事例

消費者への情報提供の方法として、栽培原料の原産地を表示する商標(通称どんぐりマーク)の活用は多くの生産者が進めているところである。さらに、消費者庁が2020年3月に食品表示法に関するQ&Aにおいて消費者への正確な情報提供の観点から原産地(収穫地)と併せて菌床製造地の表記を求めている(下図参照) それに則した対応が必要である。これにより、消費者は外国産菌床から発生したきのこの区別ができるようになった。

事例	中国で菌床製造し 〇〇県で収穫した	中国で菌床製造し 〇〇県で収穫した
今までの記	生しいたけ(菌床) 原産地: 〇〇県	
必要となる記	生しいたけ(菌床) 原産地: 〇〇県 菌床製造地: 〇〇県	生しいたけ(菌床) 原産地: 〇〇県 菌床製造地: 中国

### 【最後に】

全国大会では903号、905号の栽培の最新情報や、失敗事例の発生編を紹介する予定です。ご期待ください。



はじめに新型コロナウイルスの影響により流通や販売に被害を受けられた皆様、この紙面をお借りして心からお見舞い申し上げますとともに、1日でも早く普段の状況に戻られることをお祈り申し上げます。

新型コロナウイルスの影響により今年の全国サンマッシュ生産協議会夏期セミナーが中止となりました。楽しみにされていた皆様には心苦しい限りです。会員の皆様には資料郵送とウェブでの動画視聴ができるように対応しておりますので、是非ご視聴のほどお願い申し上げます。まだまだ油断が出来ない状況が続いておりますが、弊社なりに皆様のお力になれるようまい進してまいりますので、宜しくお願い致します。

東北営業所は岩手県にあります。事務員含め7名で北海道、青森、秋田、山形、岩手、宮城県を管轄しております。東北も昔のような涼しげな夏は無くなり、30℃以上になるのが当たり前になりました。

実りのある秋を迎えられることを祈願致しております。今後も営業所一丸となり、研修会や巡回等を通じ、皆様の生産技術向上や安定した経営ができるよう微力ながら頑張る所存です。これからも会員の皆様、関係機関の皆様の協力を宜しくお願い申し上げます。



加圧散水管理後の一回目収穫間際

しております。自然栽培での夏期カットはもちろん、高温対策が必要不可欠となっております。昨今では空調機を導入される栽培者が増えてきております。地下水が豊富にある場合は、エバーフローなどを利用して高温対策に努めておられる方もいます。



**高温対策**  
ハウス側面に遮光幕を張り、地下水をエバーフローで放出。測定時の外気温は33℃でしたが、ハウス内は27℃に抑えられていた。

夏の猛暑では高温によりきのこの原基が減少してしまつたため、その後の温度管理が重要なポイントになります。温度だけでなくハウス内湿度や菌床の水分も重



岩手県  
小岩井農場から見る一本桜と岩手山

雫石町と滝沢市にまたがる小岩井農場にある一本桜(樹種…エドヒガン)は、約100年前に植えられたと言われています。小岩井農場は1891年に開設され、総面積約900万坪の広大な敷地に羊やポニー、約2,000頭の牛たちが暮らす日本最大級の民間総合農場です。桜は五月上旬が見頃であり、小岩井農場内ではバター作りや乗馬、子供向けのアトラクション、バーベキュー、冬には雪まつりなどが楽しめます。

要であり、秋の発生に影響を与えます。この冊子が会員の皆様のお手元に届くのは初秋と思われませんが、その頃には、夏の培養管理の結果が、目に見えて菌床に現れる時期でもあります。



夏期カット後の「加圧散水」の様子  
マッシュクリーンでの「加圧散水」洗浄は粒子が細かく、水圧がありしっかりと上面に水分補給できる。

平泉は岩手県南西部にある古くからの地名で、平安時代に奥州藤原氏が栄えた時代の寺院や遺跡群が多く残っています。2011年6月にユネスコの世界遺産リストに登録され、日本の世界遺産の中では12番目に登録された文化遺産であり、東北地方では初の世界文化遺産です。



岩手県 奥州平泉  
東北初の世界遺産である中尊寺金色堂

東北へお越しになる機会がございましたら、ぜひ足を伸ばしてみてくださいは如何でしょうか。







早いもので部門だよりも第4回を迎えました。前号までに新品種の試験栽培報告、新品種販売戦略、原価計算・損益分岐とお伝えしてきました。これらの情報が少しでもお役に立てば幸いです。さて今回は経営の要である事業計画についてお伝えします。事業計画というと銀行や補助金申請などで提出する書類というイメージが強いですが、中長期あるいは単年度での経営計画や事業計画を策定しておられる方も多数いらっしゃると思います。大まかに経営計画は会社の理念やビジョンを決定していく事で、事業計画はその経営計画を達成するために必要なアクションプランを具体的に計画し実行していく事です。事業計画を立てる事で目標が明確になり、現状把握が進み問題点や改善点などが浮き彫りになります。また、金融機関との信頼向上にも繋がります。

す。経営計画については皆様にお任せするとして、今回からシリーズで事業計画について実例を上げながら、より実践的な事をお伝えしていきます。

事業計画の策定には、大まかに2通りの方法があります。ひとつは目標とする営業利益を設定してから売上目標や経費目標を設定する方法です。この方法は未来思考の事業計画と呼ばれる事があります。事業年数が少ない新しい会社や中長期的な事業計画を策定する場合に使われる事が多い方法です。実例を上げると「会社目標3年後に営業利益1,000万円達成!」などです。事業計画を達成するためのやるべき事、効率化や経費削減などが進みやすいですが、デメリットとして実績の数字との乖離が大きくなりやすい傾向もあります。もうひとつの方法は過去の実績から数字を積み上げる方法です。この方法は過去思考の事業計画と呼ばれる事があります。昨年度対比から数字を落とし込む方法で「売上目標昨対110%アップの1,000万円!」などと使われます。これは非常に簡単でやり易い方法です。市場が拡大傾向で安定している場合は問題ありませんが、市場

が縮小傾向の場合は上手く機能せず過去の実績に縛られやすいので、大きな事業転換や経費削減、改善が進みにくい傾向があります。

このように両方の良し悪しを理解した上で事業計画を策定する事、また、実行していきながら修正を行う事が重要です。では実際に事業計画を立ててみましょう。事業計画策定には、次の項目について数字の確認や目標設定が必要です。

●確認項目・目標設定

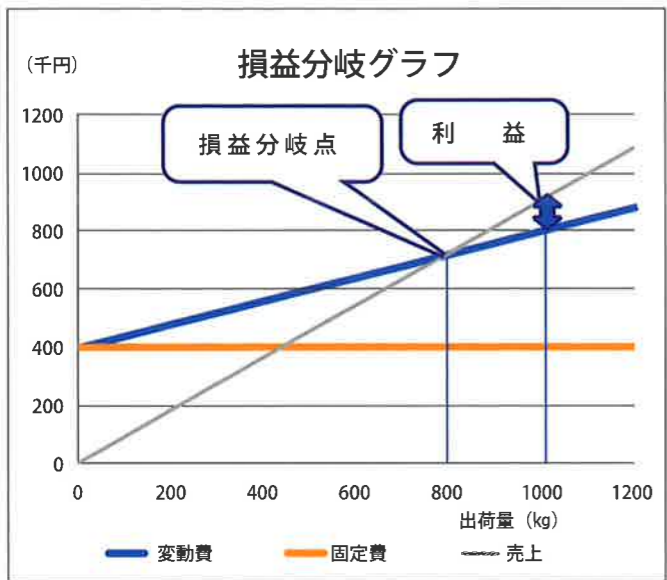
- ① 損益分岐点の把握
- ② 営業利益目標の決定(未来志向)
- ③ 売上高・販売量決定(過去思考)
- ④ 経費目標決定(未来志向)
- ⑤ 営業利益目標決定(過去思考)
- ⑥ 個別目標決定
- ⑦ 運営状況の把握と修正

以下、項目別に解説いたします。

① 損益分岐点を確認する  
まず初めに損益分岐点の確認から入ります。損益分岐点については82号に掲載しておりますので、そちらをご確認ください。過去の実績がある方でしたら昨年度実績をベースに確

認してください。実績等の数字がない方は、きのこ年鑑などの統計資料を参考に経費科目を固定費と変動費に分けてグラフを作成します。そこへ売り上げグラフを落とし込みます。経費グラフと売り上げグラフが交わる点が損益分岐点となります。損益分岐をベースに営業利益を決めます。営業利益が決まれば自動的に販売数量が決まります。

例題(例)として利益目標1000(千円)の事業計画を策定します。



② 営業利益を決める

① 損益分岐の確認で利益目標を決めました。その営業利益が適正なのかを確認する必要があります。特に営業利益を決定するにあたり、重要な点が3点あります。減価償却費、返済額、税金です。基本的には営業利益+減価償却費-返済額+税金を目指します。減価償却費を勘案しながらCF(キャッシュフロー)を意識して利益目標を定める事が重要です。借入金の返済や償還など資金繰りが行き詰まらないように、黒字倒産とならないための目標が必要です。また、税金支払いも頭の隅に入れておく事も重要です。

③

売上高・販売量を決める  
営業利益目標と昨年度経費から売り上げ目標を算出します。ここでは販売単価と出荷数量が重要になります。

(例) 売上高・販売量  
損益分岐グラフから販売単価目標900円、出荷目標1,000kg、売上目標900(千円)になります。誌面の都合上、今回はここまでです。今回は経費目標からお伝えします。

(例) 損益分岐グラフ

1kgあたり変動費400円、固定費400円、販売単価900円とします。損益分岐点は720(千円)となります。その時の出荷量は800kgとなります。利益目標を1000(千円)とすると売上目標は900(千円)、出荷量目標は1,000kg、販売単価は900円とします。

(例) 営業利益

営業利益100(千円)、減価償却費45(千円)、償還額60(千円)、税金30(千円・実効税率30%法人税)とすると、CFは営業利益100+減価償却費45-償還額60-税金30=55となります。

ここで減価償却費が0とすると、営業利益は145となりますが、CFは145-償還額60-税金43.5=41.5となります。よって手元に残る現金は減ってしまいますので計画なバランスの良い設備投資が重要な事が分かります。

売上高・販売量を決める

営業利益目標と昨年度経費から売り上げ目標を算出します。ここでは販売単価と出荷数量が重要になります。

(例) 売上高・販売量

損益分岐グラフから販売単価目標900円、出荷目標1,000kg、売上目標900(千円)になります。誌面の都合上、今回はここまでです。今回は経費目標からお伝えします。



### 執行役員就任のご挨拶

執行役員東日本営業統括部長兼  
東北営業所長 岩崎 拓也



初秋の候、会員の皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、5月1日付けで執行役員東日本営業統括部長兼東北営業所所長に就任いたしました。西日本を含む全国の統括は引き続き弊社伊藤営業本部長が行いますのでよろしくお願いいたします。

振り返ると早いもので勤続19年が経過しました。入社後は北海道、秋田県、山形県庄内地区を担当し、右も左も分からない私を会員の皆様や先輩営業員の方々に優しく手解きを頂き、菌床しいたけ栽培技術の習得に打ち込んでいたことを懐かしく思い出します。

ような中にあっても、地道な研究開発を基盤として開発された高性能きのこ種菌を安定的にユーザーの皆様にご提供するという責務が変わることはありません。これまでの研究開発で培ってきた経験や力をより一層商品づくりや品質管理にも活かし、ユーザーの皆様に「北研さんの種菌を使っていて良かった」「次も北研さんの種菌を使うよ」と言ってもらえるよう今後とも製造部・研究所はじめ全社一丸となって頑張っておりますので、引き続きご指導・ご鞭撻頂きますようよろしくお願い申し上げます。



### 外部執行役員就任のご挨拶

外部執行役員業務部長  
皆黒 友彌

皆さま、はじめまして。  
この度、4月1日付で執行役員業務部長を拝命致しました。  
前職は、経営

しいたけを取り巻く環境は、今年初めから世界的に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症の影響による販売流通の変化や各種イベント等の自粛、経済の停滞等を受け、厳しい状況にあると認識しております。また、年々増加し続けている輸入中国菌棒の影響によって国内のしいたけ生産量は過剰な状態が続いており、今後の最重要課題と考えております。全国食用きのこ種菌協会が推奨している栽培原料原産地商標（どんぐりマーク）の更なる推進と周知に専念し、併せて、消費者庁の食品表示Q&Aでの「採取地、栽培方法と併せて種菌を植えた場所も表示することが望ましい」との見解を受け、表示の必要性についてご説明を行い、ご理解頂きながら更なる徹底に努めて参ります。

今年度のサンマッシュ夏期セミナーの会場開催は自粛となりました。開催を楽しみにしていた会員の方々には残念な結果となりましたが、我々営業員が栽培情報の伝達を行って参りますのでよろしくお願ひします。

最後に、弊社の社是「栽培者が有るかから会社が在る」を念頭に会員の方々「何となく、北研を外部から支援する立場でしたが、縁あって、今年の4月に北研に入社することとなりました。前職では、多くの経営者の方々から多種多様な経営に関するご相談をお受けしてきました。そのなかでも特に、多くご相談を頂いた内容が「事業承継」に関するものでした。日本の国力を支える中小企業の経営者の年齢は、年々、高まっており、後継者を誰にするのか、どのように事業を継がせるのか、また、後継者がいない場合は事業をどのように存続させるのか、などなどご相談は多岐にわたりました。私は、事業承継は、経営者が百人いれば百通りのお悩みがある、非常に複雑で難解な経営課題だと考えております。

一方で、外部環境に目を向けると、シイタケ業界を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、解決しなければならぬ課題は他にも多くあります。このような状況下だからこそ、北研の社是である「栽培者が有るから会社が在る」という原点に立ち返り、改めて、皆さまと共に成長

を求めているのか」「今、何をすべきなのか」を考え、関係機関の方々と協力しながらサンマッシュ栽培を発展させて参りたいと存じます。今後とも変わらぬご愛顧をよろしくお願ひ致します。

### 製造部長就任のご挨拶

執行役員研究所長兼製造部長  
山内 隆弘



この度、令和二年五月一日付で、食用菌類研究所長に加えて製造部長を兼務することになりました。入社以

来二十六年間一貫して研究開発業務に当たってきましたが、これを契機に複眼的な視点からユーザーの皆様に貢献できる仕事をしたいたい意気込んでいます。

弊社は、創立以来60年を経て、業界内外の劇的な変化の中にあつて変革のときを迎えていると理解しております。その発展をしていく道筋を考える時期にあるのではないかと、考えております。

シイタケ栽培については、知識も経験もなく若輩者ではございますが、これまでの事業承継や経営改善に関するご支援の経験を活かし多少なりとも、皆さまのお役に立つことができれば、これほど嬉しいことはありません。

今後は、皆さまから多くのことをご教示頂くとともに、微力ながら皆さまの役に立てるよう尽力致しますので、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

### 人事異動のご挨拶

営業部新規開拓・海外事業課課長  
石塚 誠



この度、5月1日付で新規開拓・海外事業課課長に就任いたしました。新事業開発室の海外事業部門として活動してきましたが、このほど本社営業



部の中に新規開拓・海外事業課が新設されました。

当部署設立の目的は、シイタケを軸としたキノコ栽培に関連する事業について各種業態及び資本形態の企業などを対象として、幅広い顧客獲得に向けた活動を行うっていくことで、まさに白田社長が言われる国際的で多様な時代を迎える中で「常に考え先を創る」を実践するための部署となります。

現在は新型コロナウイルス感染症の影響で海外渡航ができない状態が続いておりますので、営業ツールの充実を図り活動開始に向けて準備を進めております。

海外事業においては、世界最大のキノコ生産量を誇る中国、シイタケ消費量が多い台湾、シイタケ販売単価が高く消費量が増え続けているアメリカ・ヨーロッパなどをターゲットとして事業展開していきたいと考えておりますが、日本のようなキノコ種菌業が成り立っていない国もありますので、それぞれの国の経済力や商習慣に合わせて商売の形を変える必要があると感じています。

また、日本産シイタケの海外販売の可能性を模索していくことや海外の栽培情

報を収集するなど協議会会員の皆様のシイタケ栽培経営の一助となるべく頑張つてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

### 人事異動のご挨拶

総務部課長  
廣江 則之



先の令和2年7月豪雨で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

この度、令和2年5月1日付で総務部課長に就任しました廣江則之と申します。

前職は、酪農の専門農協で主に総務経理業務に従事しておりましたが、小規模な組織であったため、庶務や労務関係など多岐にわたる業務を経験しております。

北研では入社3年目と社歴が浅いですが、今までの経験を活かし、職責を果た

### 人事異動のご挨拶

製造部種菌品質管理係主任  
沼田 多佳子



5月1日付で製造部種菌品質管理係に異動しました沼田多佳子です。これまでは研究所で先輩方にご指導

を受けながら、きのこに関する様々な業務に携わってきました。時には、菌床を崩してその中から原基を数えたり、山に入ってマツタケが発生しているところを見たり、シイタケの害菌を培養してみたり、シイタケ以外のキノコ種の発生にもチャレンジしてみたり…。研究所といえはシイタケの品種開発や栽培技術開発、性能検査が主な仕事なので、会員の皆様にとつてはあまり馴染みのないようなことをしてきたかもしれません。

そこから一転して製造部では、販売種菌の性能安定化に大きく寄与する種菌品質管理係の一員として、検査業務を担当

することになりました。製造部は会員の皆様との交流は比較的少ない部署ですが、種菌を購入していただく生産者様や、発生したきのこを美味しく食べていただく消費者の方々を意識しながら、日々の積み重ねを大事に業務に取り組んでいきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

### 新入社員紹介

製造部種菌品質管理係  
遠藤 章成



皆様、はじめまして。4月1日より入社いたしました、遠藤章成（えんどうゆきな）と申します。約1ヶ月

の社内研修後、製造部、種菌品質管理係に配属されました。2年前、北研の製造部でインターシップ研修をさせて頂いた際に、社員の皆様がとても温かく接してくださったこと、また、菌に寄り添ったお仕

せるよう日々精進して参ります。

総務部業務では、栽培者の皆様へご訪問やお電話をする機会も少なく、皆様から見ると一番縁遠い部署と思われるかもしれませんが、私たちが弊社の社是である「栽培者が有るから会社が在る」を常に念頭にお客様のことを考え日々の業務に取り組んでおります。

近年の異常気象により増え続ける自然災害や新型コロナウイルス禍など農業・経済社会への影響が甚大になっております中で、弊社としては、これまで以上に、栽培者の皆様に喜んでいただけるような品種・種菌・技術の開発・提供に取り組んでいるところです。総務といたしましては、全役職員が円滑に業務を遂行できるようにサポートし、「縁の下の力持ち」となつて、会社の安定・発展に寄与していくことが、栽培者の皆様やキノコ業界への貢献に繋がると信じて、これからも尽力して参ります。

まだまだ未熟ではございますが、日々勉強を心掛け、前向きな姿勢で業務に励んでいく所存ですので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

事をされている姿を拝見したことで、私も北研と一緒に働きたいという思いが芽生えました。そして、今日、縁あつてお仕事をさせて頂いた機会に恵まれた次第です。

大学時代は、『VISUAL法を用いたシロイヌナズナのANAC転写因子の解析』というテーマのもと、植物の接ぎ木について遺伝子レベルの研究をしていました。接ぎ木は古くから行われている農業技術ですが、そのメカニズムは未だ解明されておりません。この技術に関する研究で培った知識や経験をきのこ産業にも応用出来たら、様々な可能性が広がるのではないかと感じているところです。中学・高校時代は陸上競技部に所属し、砲丸投げ・円盤投げを専門としていました。私はプレッシャーに弱く、大きい大会では結果が残せずに苦しみましたが、遠くに飛ばせた時の達成感が好きで現在でも続けております。

種菌品質管理係では、繊細な仕事や観察力が求められるため、様々なことに注意をしながら、日々勉強しております。皆様に安定したより良い種菌を提供できるように精進致しますので、ご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願いいたします。



# 生しいたけの原産地表示に関して

消費者庁「食品表示基準Q&A」第10次改正（令和2年3月27日消食表第90号）において、原産地表示に関する項目（生鮮-34）が新たに追加されました。その内容が、JAS協会が発行する「JASと食品表示（5月号）」冊子に記載されておりますので、ご紹介いたします。

Q

菌床栽培のしいたけについて、中国で種菌を植え付けた菌床を輸入し、国内において栽培及び採取を行う場合、原産地表示として菌床製造地（種菌を植え付けた場所）と採取地のどちらを表示するのですか。

A

農産物の原産地については、採取地を表示することになります。しかしながら、消費者への情報提供の観点から任意で菌床製造地も併せて表示することが望ましいです。

解説

消費者は通常、菌床製造地と採取地は同一であると認識していますので、消費者の誤認を招かないよう、しいたけ（菌床栽培）について、菌床製造地と採取地が異なる場合は、採取地・栽培方法と併せて種菌を植え付けた場所も表示することが望ましいと考えます。

また、消費者による食品の選択に関する情報をより充実させるため、国産の樹木を原料に使用した原木や菌床から栽培したしいたけについては、全国食用きのこ種菌協会の「栽培原料原産地商標に関する運用内規」に基づき使用許諾している栽培原料原産地マーク（通称:どんぐりマーク）を付すること等が考えられます。

食品表示法では消費者等に販売されるすべての食品に食品表示が義務付けられています。しいたけなどのきのこ類を含む農産物については、「名称」と「原産地」を表示すること、さらに、しいたけについては栽培方法（原木栽培か菌床栽培か）を表示する必要があります。

この度の改正では、「原産地」の他に「菌床製造地」も併せて表示することが望ましいことになりました。

国産菌床でしいたけ栽培をされている生産者様におかれましては、日本菌床産しいたけと中国菌床産しいたけとの差別化を図るため、原産地表示とともに「菌床製造地」の表示を進めていただきますようお願いいたします。また、併せてどんぐりマークの表記もお願いします。

## 表示例

【現行】

名称	しいたけ
原産地	栃木県
栽培方法	菌床

【改正】

名称	しいたけ
原産地	栃木県
栽培方法	菌床
菌床製造地	栃木県 or 中国

※事項名（名称）についてはあくまで例示であり、原産地（採取地）と菌床製造地（植菌地）の区別がつく事項名であれば問題ありません。

## 賛助会員紹介

東亜技研工業株式会社

代表取締役 三木 茂

茂

弊社は昭和五十三年に徳島県美馬市にて製紙用木材チップ製造機械一式メーカーとして誕生しました。以来、菌床袋詰め機、菌床原料練り機、自動接種機などの菌床シイタケ生産者向けの機械を開発、また木材機械分野ではVZシリーズ、オガ粉製造機等の菌床原料となるザラメチップ、オガ粉の製造機械を開発し、この二分野機械を柱とし、地道ではありますすが製品の開発、技術力の向上に努めてまいりました。

近年生産者様の更なる集約化、合理化のご要望にお応えし、時間当たり800個の菌床袋詰めを可能とした新型全自動袋詰め機「RA-800」やオガ粉投入から釜入れまでの自動化など、省力化ラインの納入実績を重ね、多くのお客様よりご好評頂いております。またお客様に納入した機械は、なにより安定稼働していただくことを第一に考え、メンテナンス体制の強化に取り組んでまいりました。



現在ではトータルプラントの設計、ご提案まで含めたサービスを提供し、全国のお客様方、またアジア、北米、ヨーロッパ等海外のお客様にも弊社製品をご愛顧頂いております。これもひとえに全てのお客様、お取引業者様のご理解とご支援、ご指導によるものと深く感謝しております。さて私共は常日頃「お客様の立場にたった視点」を最も強く意識しながら製品開発、機械製造、メンテナンス等全ての業務に取り組んでおります。お客様に喜んでいただけたこと、時にはお叱りを頂戴したことも弊社一同で共有し、それを糧に次に繋げていこうと何度も繰り返し話し合っております。それら「お客様のお声」無くしては前述したメンテナンス体制の強化、各機械のバージョン



アップ、新製品開発は決して成しえなかったと確信しておりますし、それらを長年蓄積してきた経験、発想こそが私共にとって何よりも大切な宝だと考えております。今後もこれらの情勢に変わらなくお客様のご意見に耳を傾け、さらなる体制強化に努め、同時に時代の変化に対応しつつ新しいことへのチャレンジも続けてまいります。そして全てのお客様への設備導入メリット、生産効率を最大限に取り組んでまいります。そして「東亜技研の機械を導入して良かった」と言っている企業を目標としてまいります。なにとぞ変わらぬご支援とご指導のほどよろしくお願いたします。



複数の県で製造した菌床を購入し、しいたけ栽培している方が表示する場合、販売するしいたけに菌床製造地別の2種類のラベルを貼り分けすることになります。しかし、混在したしいたけを販売する場合には、1ラベルに栽培菌床の多い順に菌床製造地を表示することで、対応できるようです。例) 菌床製造地：○○県、△△県  
詳しくは、県の特用林産担当課へお問い合わせください。

現行の「原産地」のみの表示だけで「菌床製造地」表示をしなくても販売することはできますが、消費者により多くの情報を提供し、食品選択の機会を提供する観点から、「菌床製造地」の表示に努めていただきますようお願いいたします。  
さらに、どんぐりマークの表示も重ねてお願い申し上げます。

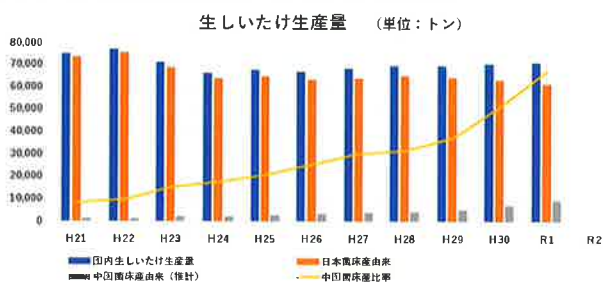
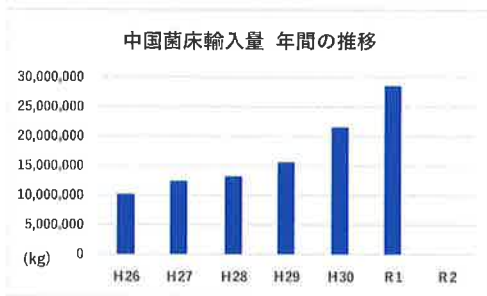
## 中国産菌床の輸入動向

中国から輸入されている菌床は年々増加しており、財務省貿易統計によりますと昨年1年間で28,617トンが輸入されました。採取量を菌床重量の3割として計算しますと、生しいたけの生産量はおおよそ9,530トンにも上り、10年前からするとおおよそ7.5倍の輸入量になります。

中国産菌床の輸入は今に始まったことではありませんが、当初は輸出時の温度管理の問題で発生トラブルが多発していたこと、生産者の多くが日本人だったこともあり、急激な普及は見られませんでした。しかし数年前から中国人の生産者が増えてきたようで、各地から「中国資本が広い土地を探している。ハウスを何棟も建てている」というような情報が聞こえてくるようになりました。3年前の平成29年からの輸入量は、毎年前年対比130%以上の伸びを示してきており、特に関東圏では大規模な栽培施設が幾つもできているようで、全てを把握しきれていないのが現状です。

一方国内を見ますと、生産者の高齢化や後継者不足などで日本国内の生しいたけ生産量が、H24年には前年比93%の66,476トンとなり、長年維持していた70,000トンを下回りました。さらに近年では、労働力確保の難しさから栽培規模を縮小せざるを得ない状況がみられています。

中国菌床産しいたけの存在は、地域によってはまだ身近に感じられない方もいらっしゃるかもしれませんが、「新型コロナの影響で、中国からの菌床輸入量が制限されるのでは」と今年3月の希望的観測とはうらはらに輸入量はさらに増え、令和2年1～6月の累計で前年対比144%になりました。日本菌床産しいたけ生産量の減少分を補充する形ではなく、相手国の都合だけで輸入されている現状では、確実に国産菌床で栽培している生産者の脅威となっております。



中国からのしいたけ菌糸(菌床) 輸入量(kg)

	1～6月累計	前年対比
H 26	3,452,332	-
H 27	4,824,763	140%
H 28	5,120,082	106%
H 29	5,470,294	107%
H 30	7,927,467	145%
R 1	10,895,588	137%
R 2	15,662,359	144%

データ出典 しいたけ菌糸(菌床) 輸入量：財務省貿易統計資料より  
国内生しいたけ生産実績：特用林産物生産統計調査資料より  
データ推計 中国菌床産由来の生産量：しいたけ菌糸重量×0.333で換算  
日本菌床産由来の生産量：国内生しいたけ生産量－中国菌床産由来生産量で推計



# 「育てる喜び」と「食べる喜び」を伝えて、 未来の消費者を育もう！



会員の皆様の食育活動をサポートいたします！  
お近くの営業所にお問合せ下さい。



株式会社北研は、  
栽培原料原産地商標  
(どんぐりマーク)  
を推進いたします。




**本社**  
 〒321-0222  
 栃木県下都賀郡壬生町駅東町7-3  
 TEL:0282(82)1100 FAX:0282(82)1119  
 E-mail info@hokken.co.jp URL http://www.hokken.co.jp  
 『サンマッシュくん』  
 株式会社北研の公式facebookでは、きのこや食育、全国サンマッシュ生産協議会の活動等最新情報を公開しています。

**東北営業所**  
 〒020-0535  
 岩手県岩手郡雫石町小日谷地36-3  
 TEL:019(692)1100 FAX:019(692)1646

**中央営業所**  
 〒321-0222  
 栃木県下都賀郡壬生町駅東町7-3  
 TEL:0282(82)1101 FAX:0282(82)1119

**西日本営業所**  
 〒710-0251  
 岡山県倉敷市玉島長尾赤岸2680-2  
 TEL:086(525)1688 FAX:086(525)1667

**四国営業所**  
 〒770-8074  
 徳島県徳島市八万町下福万1-1  
 TEL:088(667)1046 FAX:088(667)1047

**九州営業所**  
 〒877-0024  
 大分県日田市南元町12-20  
 TEL:0973(27)6171 FAX:0973(27)6172

**馬頭工場**  
 〒324-0602  
 栃木県那須郡那珂川町大山田下郷1296-4  
 TEL:0287(93)6565 FAX:0287(93)6566